

理事長

と が り は じ め
戸 莉 創



ランドルフ先生はなぜ女子校を

金城学院大学は、アメリカ人宣教師のアニー・ランドルフ先生が、1889年、「女学専門冀望館」という女子だけの塾を名古屋で作られたことから始まりました。確かに、ランドルフ先生は、若い時のアメリカ時代でも、そして中国へ派遣されていた宣教師時代でも女学校で教えておられた記録がありますが、療養目的で立ち寄った日本の名古屋で、何故、それまで男子だけであった「冀望塾」を女子だけに变えてまで、「女学専門冀望館」を作られたのでしょうか。そこには、母国アメリカでの、1700年台に作られた男子だけの学校に対して、女子だけの学校が台頭してきた1800年代の時代背景がありました。アイビーリーグの8男子大学に女子版アイビーリーグと言われたセブンスターズ、即ち7つの女子大学が脚光をあびる時代をランドルフ先生は過ごされたのです。とりわけアメリカで注目されたセブンスターズを強く意識されたように思います。

そこで、まず現代のアメリカと日本の「女子大学」についてみてみましょう。「女子大学」の数は現在アメリカでは30校ですが、日本は75校を数え、実は日本は世界で最も多く「女子大学」を保有する大国であります。しかし、高等教育機関としての「大学」の数となりますと、最も多い国はやはりアメリカで、昨年の時点でアメリカの大学は3,982校、つまり約4,000校を数えます。しかし、次に大学が多い国は我が日本であり、その数は803校、アメリカ

の5分の一となっています。そして三位が韓国で日本の約半分の416校です。ところが、「女子大学」の数に限定しますと、順位が逆転します。「女子大学」の数の最も多い国は日本で75校、アメリカが30校、韓国が7校です。近年は日本にこそ女子大学が多く存在しているのです。欧州、ヨーロッパは、歴史的に女子大学そのものが発展してこなかったこととなります。つまりはアメリカの資本主義と多分にキリスト教文化、とりわけ篤志(とくし)の文化、即ち、社会奉仕、慈善事業の醸成が関与してきたものと思われれます。つまり、女性への高等教育の必要性の価値観が醸成されてきた故のものと思われれます。アメリカでの女子大学の数がかつては70校ほどありましたものが半減して現在の30校に至っていますのは、共学化したり、他の共学の名門大学との合併や融合などを可能にしたために、女子大学の定義から外れ半減していると思われれます。とりわけカソリック系の女子大学は廃止や共学化が多く減少していく一方で、プロテスタント系の女子大学はほとんど減少していかなかったとされています。

いずれにしても、ランドルフ先生にはアメリカの女子大学の活躍が目止まり、日本でもと夢見られた可能性があるように思えてなりません。



文学部教授

そ わ まつ と
楚 輪 松 人



看護学部長

いち かわ せい いち
市 川 誠 一



私の教会

日本基督教団愛知教会

愛知教会は、地下鉄東山線の一社駅から歩いて10分の所にある日本キリスト教団の教会です。必見は特別な礼拝堂です。目を上げると木製の十字架が高く掲げられています。左側の壁にはイエス・キリストを連想させる三つのステンドグラスがあります。それぞれ①口にオリーブの枝をくわえた鳩、②葡萄の実、③野に咲く白百合の図像が嵌め込まれています。三つの図像が陽の光にきらめき、木の温かみが感じられる礼拝堂にいますと、忙しい日常が忘れられ、本当に神さまの愛に包まれているように感じます。



小中高生対象の教会学校ではイエス様について学びます。聖書を教えて下さる先生方はとても優しく、教会についての固いイメージもなくなります。毎週、金城学院中高の生徒が熱心に参加してくれ

ることは大きな喜びです。大人礼拝では、70人近くの方が礼拝に参加しています。金城学院大学のOGが多いのも愛知教会の特色です——DIGNITY（気品・気高さ）が自然と溢れる、本物のクリスチャンの方々です。三人の専属オルガニストの奏でる礼拝音楽の調べは最高です。ぜひとも中央席に坐って下さい。反響板にこだまして、天から音楽が降り注いできます。吉澤 永牧師の説教もわかりやすく初めての方も安心です。

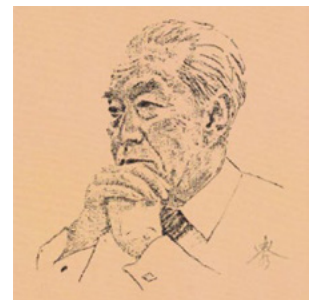
日曜日の朝、ちょっとだけ早起きをして、愛知教会に来てみませんか？ 神さまがあなたを待っています！

私の学生時代

ウイルス学との出会い、そして恩師から受けた教え

私はウイルス感染症、特にエイズに30年以上取り組んできました。エイズの原因であるヒト免疫不全ウイルスに感染した人は8,000万人以上とされています。私が、ウイルスに興味を持ったのは、大学2年生の時です。細菌学、ウイルス学、免疫学が面白く、特に生きた細胞に侵入して巧みに増殖し、細胞を死滅させたり、潜伏したり、がん細胞に変えてしまうウイルスに大変興味を持ちました。大学は、北里柴三郎先生が開いた北里研究所を母体に設立されたので、その道の専門家が集まっており、授業が面白いのは当然かもしれません。大学院でウイルス学を専攻し、ウイルス感染症の基礎研究の道を選びました。

大学院2年目に、研究室に新しく長野泰一教授（故人）が着任しました。長野先生は、東京大学名誉教授、東京大学伝染病研究所（現材の医科学研究所）所長をされ、ウイルス抑制因子（インターフェロン, IF）の発見者です。長野先生は丁寧に指導してくださいました。「君の日本語は正しくないのだから、まずは日本語の使い方から・・・」と言われてながら、修正が何度もありました。そんな先生との楽しみの時間は昼食でした。先生は、カマンベールチーズとサンドウィッチパンを美味しく口に運びながら、デカルトの話、良寛の話、そしてフランス・パスツール研究所の話、と色々な話をしてくださいました。他の院生は食堂に行っていたので聞いているのは私一人です。ある日、「名誉とか栄誉というものは後からついてくるものです。君は、コツコツと泥臭く、研究に取組むようにしなさい」と言われました。私は、「先生は昭和天皇に講義をされ、文化勲章など多くの栄誉をいただいているからそのようなことが言えるのではないか」と思っていました。先生はIFの研究をコツコツと続けていました。



長野泰一先生の似顔絵

出典：道～昭和の一人一話集～、67頁、中統教育図書

大学でウイルス学に出会い、研究の面白さを知り、さらに長野先生との出会いによって、教育者、研究者としての姿勢を学びました。長野先生からのお便りには、いつも「拙学求真」と自筆で書かれていました。今も、心にとめていきます。

音楽宣教師

く め さ ゆ り
久米小百合



2022年11月8日「キリスト教の時間」講演要約

「おいしい聖書」

(箴言 16:24、詩編 52:10、ホセア 14:7~8)

聖書はおいしいか？と尋ねられれば、美味しいとか不味いという以前に気難しい、堅苦しい、そして分厚くて重たくて、とても全部は読む気になれないというのが、洗礼を受けた頃の私でした。それでも面倒なところは飛ばし飛ばし超特急で読み進めるうちに、意外と食べ物の話が多いことに気づきました。ちょうど東京バプテスト神学校に聴講生として入学した頃で、知らないことばかりなのだから恥のかき捨てて何でも聞いて、ゼロから教えていただこうと思ってました。まだインターネットなどない時代だったので、聖書辞典にも大変お世話になりました。

「種入れぬパンて何？」「肉桂てなにかの肉？」「レンズ豆、イナゴ豆は日本でも買える豆？」なんて具合で次から次へと疑問が出てきます。そんな私を見ていて気の毒に思ったのか、夫が誕生日にプレゼントしてくれたのが『食べものからみた聖書』（河野友美著）という本でした。

謎が解け始めると思っていたよりも数倍聖書は面白くおいしい本ではありませんか。

「種入れぬ」なんて言われるとピンとこないけど、イースト菌が入っていないペタンコのパンなんですね。「肉桂」よりシナモンとかニッキと言われれば、もう旧約のページから甘くエキゾチックな香りが立ち上がってきます。レンズ豆はイタリア料理の惣菜屋軒食堂で見かけた時には真っ先に注文しました。実はこんな風に聖書の世界を味わうことを勧めて下さったのは、当時旧約聖書を担当されていた教授の指導です。あなた達もイスラエルの雑踏に立ち止まり、聞こえてくる賛美の音色や楽器の音、話し声、香料の香り、よく焼けた捧げものの肉の煙りを嗅いでごらん下さい。聖書の中を歩くように、旅するように読んでごらん下さい。こんな風にイメージの翼を広げて読んでいくと聖書はなかなかおいしい本だとわかります。

野菜や果物、肉魚、乳製品や香辛料もたくさん登場します。80年代、まだ日本のスーパーには塩胡椒、七味唐辛子、辛子、乾燥パセリくらいしか並んでいなかったのに、

2000年以上前の物語に既に登場するクミンやディル、ミントにワクワクしました。また聖書の油であるオリーブオイルも80年当時はまだ日常使われていませんでしたが、今はコンビニを始めオリーブオイルの無いスーパーはありません。そして食用だけではなく、供物や薬用、灯火用と用途の広いこのオリーブ油をもっと知りたいと思い、好きが高じてオリーブオイルのジュニアソムリエの資格まで手を伸ばしてしまったのも、聖書のおいしさを伝えていきたいという下心があったからでした。

食いしん坊の人はたいてい料理を作るのも好きです。聖書というキッチンには有難いことに、塩も水もパンも葡萄酒もそろっています。何か作れないでしょうか。講演の時には学生さんたちに聖書や聖句の食材イメージでお弁当を作ってみてとお願いしましたが、ちょっと難しかったですでしょうか。旧新の聖書によく登場するパンに少年ダビデが兄たちに届けたチーズを挟んだサンドイッチなんていかがでしょう。またお魚好きなら、主イエスが復活後に弟子たちと焼いたガリラヤ湖の干物にオリーブオイルを数滴、炊いた麦を合わせたヘルシーな一皿ならダイエット中の人にも安心です。聖書に記述の多い果実のイチジクに野蜜とヨーグルトをかければシンプルなデザートになります。ケーキが好きな人は、アブラハムが天よりの客人に振る舞った甘いお菓子を再現してみるのも面白いかもしれません。

いかがでしょう、聖書というレストランに興味をもっていただけたでしょうか。どうぞ人生を豊かに美味しくする一皿・神のことばに出会ってくださいね。

- *シナモンー 出エジプト30:23、他旧約に多数。
- *ダビデとチーズーサムエル上17:17~
- *イエスと干物ーヨハネ21:1~13 他
- *イエスとイチジクールカ13:6~9、ヨハネ1:48、マルコ11:12~21 他旧約にも多数。
- *アブラハム（妻のサラが焼いた）のパン菓子ー創世記18:6

薬学部教授

の だ やす ひる
野田康弘



2022年6月9日・朝の礼拝奨励

「山は流れ去る」

(士師 4 : 3~7、5 : 1~5)

薬学部では2年生に製剤学という講義を履修しますが、その中で軟膏やクリームの流動性ついて習います。軟膏やクリームは、一見、固体のようにも見えますが、時間が経つと液体のように垂れてきます。すべての物体は、観察する時間を変えると固体のように見えたり、液体のように見えたりします。この現象を説明するためにデボラ数という数値を用います。この数値が大きいほど固体的、小さいほど液体的と判断します。このデボラ数は、実は旧約聖書の女預言者デボラと関係があることをご存知でしょうか。士師記4章のデボラは女性で、士師という働きをしていました。士師の働きは2つあります。一つは、人々の間で起こった様々な事件を裁く裁判官のような働き。もう一つは、戦いに出るために戦術を助言する軍師のような働きです。どのような戦術だったのでしょうか。

士師記4章3節に目を向けると、ヤビンという指揮官がいました。「鉄の戦車900両」でイスラエルの人々を力づくで押さえつけていたと書かれています。そのような状況下のイスラエルを助けるためにデボラは、神から知恵を授かり、ある作戦を実行します。7節を見ると、敵の戦車を川に誘き寄せて、敵の指揮官を倒すという作戦です。なぜ川に誘き寄せたかという、戦車は重すぎるので、沼地にはまり車輪を取られると動けなくなるからです。作戦はうまくいきます。15節を見ると、敵の軍は混乱し、敵の指揮官は戦車を降りて走って逃げていきました。21節を見ると、最終的に、逃げた指揮官は疲れ切って熟睡しているときに刺され死んでしまいます。このようにしてデボラは戦いに勝利を取めました。そして5章5節で神を賛美して、「山々は、溶け去った。」と歌います。敵の指揮官や王を山に喩えて歌っています。また、別の聖書の訳では、「山々は、流れ去った」と書かれています。ここでデボラは、一つのことを明らかにしています。それは、山は、人間の目には動いていないように見えても、神の目から見れば、山でさえ流れ去るということです。

100年かけて山を観察したとします。人の一生の間に山が動くのを目で見るとは、おそらくないでしょう。しか



し、地球が誕生してから今日に至るまで45億年の間には、山々はプレートに乗って流れています。1年で1mm動いたとすると、45億年に4500kmも動きます。つまり、人間の時間感覚では動かないと感じる山でも、創造主である神の時間感覚では海に向かって流れていくのが見えるのです。

だれでも山のように動かない困難に直面することがあります。困難に出会ったときは、この困難は永久に去っていかないと感じるのではないのでしょうか。しかし、山のように動かない困難も、神の前では流れ去っていきます。人間的な視点では永久に解決しないと思われる問題でも、神の視点から見れば必ず解決します。

コラム

$$\text{デボラ数} = \frac{\text{緩和時間}}{\text{観測時間}} \rightarrow \begin{matrix} \text{大きいほど固体的} \\ \text{小さいほど液体的} \end{matrix}$$

緩和時間は、物質固有の値で硬い物質ほど大きな値を取る。

「最近の観測では、
“氷河は100年で30cm動く”
ほぼ動いていないように見える。

観測時間を地球の年齢45億年とし、
100年とした時のデボラ数と比較すると

$$\text{デボラ数} = \frac{\text{氷河の緩和時間}}{100} \gg \frac{\text{氷河の緩和時間}}{4,500,000,000}$$

固体的 液体的

「45億年を人間の観測時間100年に換算すると
“氷河は70秒で30cm動く”
4500万倍速で動く。

「氷河の動きも主のタイムスケールではすぐに起こることなのですよ」

上田隆宣著『測定から読み解くレオロジーの基礎知識』
(日刊工業新聞社)より一部引用

日本基督教団奥沢教会牧師・聖学院大学総合研究所特任教授

ナ
洛
グ
雲
ネ
海



2022年12月5日・朝の礼拝説教（特別講師として来校）

「自分の足で立ち、歩く」

（使徒 14：8～10）

神さまを信じて、外から来る呼びかけに応じる時、その人には驚くような事が起こります。たとえば自立。今日の聖書箇所には、この自立が起こった人の恵みの物語が記されています。

望んでもいないのに、誰かから何か強制されたり干渉されたりすることは嬉しいものではありません。身体的に拘束されることはいうまでもありませんし、心や精神を拘束されることも嫌なものです。わたしたちは皆「自由」でありたいのです。自由には責任が付随しますが、そこで大切なことは自立です。自分の足でまっすぐ立つこと、そして歩くこと、生きること。それでこそ責任を担うこともできます。自分の足で真に立って歩くことと、真の自由とは、イエス・キリストを信じる人に与えられる大きな恵みです。

リストラという町に、生まれつき足の不自由な人が座っていました。生まれてから一度も自分の足で歩いたことのない人でした。その人の座っている町へ、使徒パウロとバルナバという二人のキリスト者がやって来ました。

足の不自由なその人は「パウロの話すのを聞いてい」ました。ただ聞いていたのではなく、信じて聞いていました。するとその時、パウロはその人に向かってものすごいことを大声で言いました。

「自分の足でまっすぐに立ちなさい。」

パウロは、その人が立てなかったらどうしよう、などと不安に思わなかったのでしょうか…。しかし、パウロは宣言しました。

信じる人には驚くべきことが起こります。その人は「躍り上がって歩き出し」たのでした。自分の足で一度も歩いたことのない人です。これは単に足が治ったとか、癒されたとかいう話ではないでしょう。それ以上です。自分の足で一度も歩いたことのない人が、キリストの使徒の呼びかけに応じて立ち上がったという話です。それどころか、躍り上がって、新しく歩き始めたという、ものすごい話なのです。

この出来事は、他の健常な人に起こったものではありませんでした。足が不自由で、厳しい状況におかれていた人にこそ起こりました。時に人間の目には不幸と思われる状況

も、神さまは特別の恵みのために用いられることがあるのです。

不自由の中にある方はいますか。辛い思いをしている方、苦しい思いをしている方はいますか。どうぞイエスさまを信じてください。必ずや神さまが喜びの笑いを起こしてくださることでしょう。神さまはあなたにいのちを与えられたお方、あなたの救いのために独り子を死に渡されたお方、それほどに、あなたを愛しておられるお方なのです。

イエスさまを信じる人は、自分の足で真っすぐ立つよう促されます。そんなこと無理だと思わずに、信じて立ち上がってみてください。すると、あなたは自分が自分の主であろうとすることからも解き放たれることでしょう。そして、すばらしい自由が与えられます。それは神さまへと向かう自由、イエスさまを主とする自由です。

足の不自由だったあの人は、ただ立ち上がっただけではありませんでした。踊り上がって歩き出したのでした。神さまは、信じる人を自分の足で立てるようにしてください。真に自立させてくださるのです。どうか信じてください。イエスさまを信じて主とするとき、あなたは自分自身からも解き放たれ、真の自由を得て、自分の足でまっすぐに立ち上がって新しく歩き出すのです。これは、真理によって自由を得た人にこそかなう恵みです。「わたしは…真理であり…」とイエスさまが言われました（ヨハネ福音書 14：6）。

「自分の足でまっすぐに立ちなさい。」

今日私たちもそう呼びかけられています。この御ことばからの呼びかけに応じて、私たちも自分の足で立ち上がって、新しく歩き出そうではありませんか！その歩みには、いつも神さまが共にいてくださるのです。

祈りましょう。

天のお父さん、今日私たちは、自分の足で立ち上がり、歩き出すよう促されました。

どうか、御言葉からの呼びかけに応じて立ち上がり、歩き出す者とならせてください。

イエスさまの御名によって祈ります。 アーメン

礼拝

イースター記念週間

4月10日(月)	吉松 純	大学宗教主事
11日(火)	落合建仁	文学部宗教主事
12日(水)	松谷暉介	薬学部宗教主事
13日(木)	小室尚子	学院長・宗教総主事・大学長
13日(木)	中家 盾	日本キリスト教会大阪西教会牧師
14日(金)	田口博之	日本基督教団名古屋教会牧師
17日(月)	戸 莉 創	理事長
18日(火)	山田 詩郎	日本基督教団名古屋北教会牧師
19日(水)	吉松 純	大学宗教主事
20日(木)	西村 清	日本基督教団中部教区巡回牧師
20日(木)	落合建仁	文学部宗教主事
21日(金)	和田芳子	日本基督教団東海教会牧師
24日(月)	小室尚子	学院長・宗教総主事・大学長
25日(火)	中島善子	日本基督教団豊橋東田教会牧師
26日(水)	辻 順子	日本基督教団鳴海教会牧師
27日(木)	加藤明宏	愛知いのちの電話協会事務局長
27日(木)	松谷暉介	薬学部宗教主事
28日(金)	落合建仁	文学部宗教主事
5月 1日(月)	小室尚子	学院長・宗教総主事・大学長
2日(火)	吉松 純	大学宗教主事
8日(月)	松谷暉介	薬学部宗教主事
9日(火)	稲田勝之	日本基督教団中京教会牧師
10日(水)	吉澤 永	日本基督教団愛知教会牧師
11日(木)	田中 宏	日本基督教団名古屋松山教会牧師
11日(木)	小室尚子	学院長・宗教総主事・大学長
12日(金)	落合建仁	文学部宗教主事
15日(月)	北川美奈子	中学校宗教主事
16日(火)	諏訪 徹	事務局長
17日(水)	楚輪松人	文学部教授
18日(木)	大住共平	日本基督教団知立伝道所・碧南教会牧師
18日(木)	中家 盾	日本キリスト教会大阪西教会牧師

19日(金) 落合建仁 文学部宗教主事

春の伝道週間

22日(月)	戸 莉 創	理事長
22日(月)	小室尚子	学院長・宗教総主事・大学長
23日(火)	小室尚子	学院長・宗教総主事・大学長
23日(火)	吉松 純	大学宗教主事
24日(水)	児玉 芽	幼稚園長
24日(水)	高岡美千代	クワイア指導者
25日(木)	野々垣慎治	中学・高等学校校長
25日(木)	松谷暉介	薬学部宗教主事
26日(金)	林小夜子	みどり野会会長
26日(金)	落合建仁	文学部宗教主事

ペンテコステ記念週間

29日(月)	小林 光	日本基督教団熱田教会牧師
30日(火)	OQUINN, Caitlin R.	金城学院教育宣教師
31日(水)	TAYLOR, Matthew A	文学部教授
6月 1日(木)	松谷暉介	薬学部宗教主事
1日(木)	南 尚浩	愛隣教会牧師
2日(金)	朴 相俊	生活環境学部准教授
5日(月)	吉松 純	大学宗教主事
6日(火)	小室尚子	学院長・宗教総主事・大学長
7日(水)	上野 顕子	生活環境学部教授
8日(木)	山本陽一郎	日本同盟基督教団多治見中央キリスト教会牧師
8日(木)	落合建仁	文学部宗教主事
9日(金)	狩野進之佑	日本基督教団愛知守山教会牧師
12日(月)	八 東 清	日本基督教団御器所教会牧師
13日(火)	中島善子	日本基督教団豊橋東田教会牧師
14日(水)	辻 順子	日本基督教団鳴海教会牧師
15日(木)	野田康弘	薬学部教授
15日(木)	中家 盾	日本キリスト教会大阪西教会牧師
16日(金)	吉松 純	大学宗教主事
19日(月)	和田芳子	日本基督教団東海教会牧師
20日(火)	田口博之	日本基督教団名古屋教会牧師
21日(水)	落合建仁	文学部宗教主事
22日(木)	安達正樹	日本基督教団名古屋新生教会牧師
23日(金)	山田 詩郎	日本基督教団名古屋北教会牧師

26日(月)	木下 裕也	日本キリスト改革派教会岐阜加納教会牧師
27日(火)	上村千尋	人間科学部教授
28日(水)	松谷暉介	薬学部宗教主事
29日(木)	吉澤 永	日本基督教団愛知教会牧師
29日(木)	小室尚子	学院長・宗教総主事・大学長
30日(金)	吉松 純	大学宗教主事
7月 3日(月)	羽鳥 頼和	日本福音キリスト教会連合自由ヶ丘キリスト教会牧師
4日(火)	大住共平	日本基督教団知立伝道所・碧南教会牧師
5日(水)	小林 光	日本基督教団熱田教会牧師
6日(木)	稲田勝之	日本基督教団中京教会牧師
6日(木)	松谷暉介	薬学部宗教主事
7日(金)	小椋実央	日本基督教団瀬戸水教会牧師
10日(月)	原田 望	大学事務部長
11日(火)	南 尚浩	愛隣教会牧師
12日(水)	辻 順子	日本基督教団鳴海教会牧師
13日(木)	戸 莉 創	理事長
13日(木)	中家 盾	日本キリスト教会大阪西教会牧師
14日(金)	吉松 純	大学宗教主事
18日(火)	中島善子	日本基督教団豊橋東田教会牧師
19日(水)	日比野直子	人間科学部准教授
20日(木)	落合建仁	文学部宗教主事
20日(木)	西村 清	日本基督教団中部教区巡回牧師
21日(金)	和田芳子	日本基督教団東海教会牧師
24日(月)	田中真希子	日本基督教団名古屋松山教会牧師
26日(水)	松谷暉介	薬学部宗教主事
27日(木)	沖崎 学	高等学校宗教主事
27日(木)	八 東 清	日本基督教団御器所教会牧師
28日(金)	落合建仁	文学部宗教主事
31日(月)	安達正樹	日本基督教団名古屋新生教会牧師
8月 1日(火)	狩野進之佑	日本基督教団愛知守山教会牧師
2日(水)	小室尚子	学院長・宗教総主事・大学長
3日(木)	松谷暉介	薬学部宗教主事
3日(木)	吉松 純	大学宗教主事
4日(金)	落合建仁	文学部宗教主事

(赤字は昼の礼拝です)

朝の礼拝

日時 月～金曜日 8時45分～9時00分
場所 エラ・ヒューストン記念礼拝堂

昼の礼拝

日時 木曜日 12時40分～12時55分
(伝道週間は13時5分迄)
場所 エラ・ヒューストン記念礼拝堂

祈祷会

日時 水曜日 8時10分～8時25分
場所 キリスト教センターラウンジ

キリスト教の時間 (パイプオルガンコンサート)

日時 6月22日(木) ①13時30分 ②15時30分
場所 エラ・ヒューストン記念礼拝堂
演奏者 アレックス・ガイ、吉田 愛、パオロ・トレッテル

大学教員キリスト教セミナー

日時 8月8日(火) 10時00分～15時00分
場所 エラ・ヒューストン記念礼拝堂
講師 芦名定道 (関西学院大学教授)

※各行事は諸事情により変更となる場合がございます

軽井沢バイブルキャンプ

日程 8月23日(水)～25日(金)
場所 軽井沢スマイスハウス
講師 塚本吉興 (日本基督教団福岡中部教会牧師)
参加費 5,000円

オルガニスト養成講座

朝と昼の礼拝で奏楽を担当するオルガニストを養成する講座です。詳細はHPをご覧ください。6月2日(金)申込締切。

スマイス奨学生

本学における福音主義キリスト教に基づく、信仰の奨励とキリスト教活動の推進を図ることが目的です。詳細はHPをご覧ください。5月10日(水)申請締切。

クリスマス献金報告

献金総額 (幼稚園・中学校・高等学校・大学) 75万円
皆様のあたたかいお志とご協力に深くお礼申し上げます。

送金先：ウクライナの人道支援のため 33万円
詳細はHPをご覧ください。

金城学院大学キリスト教センター

Tel. 052-798-0180
E-mail. ccoffice@kinjo-u.ac.jp
URL. https://www.kinjo-u.ac.jp/ccoffice/

